

事業番号	04 09 06	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	障がい者スポーツ振興事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	障がい者支援課		
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実			E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	～		

### 1 事業の概要

目指す姿	すべての障がい者が、各々の関心や程度に応じてスポーツに親しみ、楽しめる環境の整備		
現状（予算編成時）	各種障がい者スポーツ大会の参加者数が減少傾向にあるため、障がいの特性を理解した指導員の育成、活動機会の提供及び障がい者が自主的かつ積極的にスポーツや運動を行うことができる環境の整備が求められている。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 地域生活支援事業費等補助金交付要綱	
	県民との協働による実施： 検討中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	県障がい者スポーツ大会等各種大会の参加者及び指導員研修会受講者の増加を図る。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績		H27	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	地区障がい者スポーツ大会	負担金	県内10保健福祉事務所での地区障がい者スポーツ大会の実施	1,670	1,670	1,670
	地区精神障がい者スポーツ大会	補助金	県内5地区でのソフトバレーボール大会の実施	235	235	235
	県障がい者スポーツ大会	直接	県内障がい者向けにスポーツ大会の実施	4,128	3,941	6,148
	県障がい者スキー大会	委託	県内の障がい者向けにスキー大会の実施	774	774	886
	全国障害者スポーツ大会等団体競技地区予選会	補助金	全国障害者スポーツ大会団体競技出場権をかけて地区予選を実施	2,300	1,728	2,203
全国障害者スポーツ大会	補助金	・県大会の成績優秀者を全国大会に派遣 ・大会派遣のための選手記録会及び合宿	14,920	14,587	13,514	
長野車いすマラソン大会	負担金	車いすマラソン大会の実施	9,800	9,800	9,800	
障がい者スポーツ指導員養成研修事業	委託	障がい者スポーツの振興推進に必要なスポーツ指導員の養成	249	249	249	
パラリンピアン・チャレンジ・プロジェクト	補助金	パラリンピック出場を期待できる選手の強化事業の実施	996	463	996	
長野県障がい者スポーツ協会業務支援事業	補助金	長野県障がい者スポーツ協会の運営費補助	17,788	15,203	17,842	
合計			52,860	48,650	53,543	

事業コスト	区 分(単位:千円)						
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	50,493	50,280	52,860	53,543	
		補正予算					
		合計(A)	50,493	50,280	52,860	53,543	
	Aの財源	一般財源	32,220	31,794	34,843	34,483	
		県債					
		国庫支出金	5,230	5,346	5,027	6,043	
		その他	13,043	13,140	12,990	13,017	
	決算額(B)	44,418	41,200	48,650			
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00		
	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	8,258		
	概算事業費(B+A+C)	52,676	49,458	56,908	61,801		

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
県障がい者スポーツ大会参加者数	1465人	1470人	1400人	未達成	1400人
障がい者スポーツ指導員研修受講者数	33人	30人	20人	未達成	25人
長野車いすマラソン大会参加者数	66人	60人	62人	達成	64人
全国障害者スポーツ大会参加者数	52人	60人	49人	未達成	—
全国障害者スポーツ大会地区予選会参加者数	90人	90人	90人	達成	—

目標に対する成果の状況	県障がい者スポーツ大会等各種大会を前年度とほぼ同規模に開催した。各事業の実施に当たっては、県内の障がい者施設等への周知・情報提供を行ったが、参加者数拡大(目標達成)のためには、マスコミ等様々な広報媒体を利用した一層の情報発信を行うとともに、より参加しやすい工夫が必要である。また、障がい者スポーツ指導員研修受講者数を増やすため、研修の広報に力を入れる必要がある。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 2020年の東京パラリンピックに向け、障がい者スポーツの一層の発展が期待されており、障がい者アスリートの支援と障がい者スポーツ人口の拡大を図るとともに、障がい者がスポーツを通じて社会参加を促進するための体制を整えていく。
--------------------	---